

防災・減災に関する県民意識調査の実施について

平成 27 年 10 月 5 日
広島県危機管理監

1 調査の目的

県民の防災・減災に関する意識や行動内容、防災情報の入手手法等の調査を行い、行動計画の成果指標の達成度を把握するほか、課題の把握と分析を行い、新たな取組みの検討に活用する。

2 調査方法

- (1) 調査人数 10,000 人（県内在住の満 20 歳以上の男女）
(2) 実施時期 10 月上旬

3 調査の概要（全 40 問）

行動目標	主な調査内容
知る	<p>○災害危険箇所の確認を促進する上で、必要な取組は何か？ ハザードマップ等による災害危険箇所の確認状況及び、災害危険箇所を確認していない理由</p> <p>○避難場所・避難経路の確認を促進する上で、必要な取組は何か？ 災害の種類に応じた避難場所・避難経路の確認状況及び、避難場所・避難経路を確認していない理由</p>
察知する	<p>○気象情報・避難情報の入手手段の確保を促す取組は何か？ 気象情報・避難情報の認知度と入手手段及び、避難情報が発令された際にとるべき行動の種類の認知度</p>
行動する	<p>○適切な避難行動が取れるように促す、必要な取組は何か？ 避難行動を開始するタイミングと避難行動をとらない理由及び、地域での避難の呼びかけなど地域における避難支援体制の現状</p>
学ぶ	<p>○防災活動（防災教室・防災訓練）への参加を促進する取組は何か？ 防災活動への参加状況及び不参加の理由及び、なぜ、参加者が少ないのか、また、どのような防災活動に参加したいのか</p>
備える	<p>○非常持出品等の災害への備えを促進する取組は何か？ 災害への備えの有無及び災害への備えを行う上での課題</p>
その他	<p>○平成 26 年 8 月土砂災害を踏まえた、災害への意識の変化 ○県民総ぐるみ運動の認知度</p>